

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月3日作成

事業番号	372	担当課等	財政課							
事務事業名	まちづくり寄附金推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	03	事業開始年度	平成 26 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P154 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなで作る自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 将来を見据えた行 政経営の推進	2 財政運営	(1) 財源の確保	② 自主財源の確保				
関連する個別計画	湯河原まちづくり寄附金推進事業実施要綱								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	湯河原まちづくり寄附条例に基づく寄附の推進を図るとともに、町内産業の活性化に寄与する								
対象	1万円以上の寄附をしてくださった町外の個人又は団体								
内容	1万円以上の寄附をしてくださった町外の個人又は団体に対し、その寄附金額に応じて、記念品として地元特産品、ゴルフ場利用券又は宿泊ギフト券を贈呈するもの								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	194,809,330	75,207,144	100,794,000		
	人件費					
	常勤職員	3,664,000	3,712,000	3,582,000		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	3,664,000	3,712,000	3,582,000		
	総事業費	198,473,330	78,919,144	104,376,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	194,318,000	74,721,000	100,794,000		
	一般財源	4,155,330	4,198,144	3,582,000		
	財源合計	198,473,330	78,919,144	104,376,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
記念品代		寄附金額に対する記念品代のため	円	187,669,000	69,850,260	90,000,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
寄附件数		事業に対する寄附実績のため	件	1,439	1,348	2,000
寄附金額		事業に対する寄附実績のため	円	236,940,145	267,448,905	300,000,000

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町に対する寄附行為を推進するものであり、自主財源の確保に有効であり、必要性は高い
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 事業費以上の寄附金額があり、効率性は高い
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 上記により、効率性は保たれているものの、更なる推進を図る必要がある
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 1万円以上の寄附ではあるが、寄附いただいた個人又は団体に対する記念品の贈呈であるので、公平性は高い
令和元年度までの自己評価または改善点	平成30年度に返礼割合の引き下げ等により寄附額が減少した。令和元年度においては、寄附受付のポータルサイトを拡大したことなどにより、寄附額を増やすことができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和元年6月の法改正により、返礼品とその他広告費、事務経費など含めた金額が寄附金額の5割以内とすることとなった。ルールに則り、適正な運用をする中で、PR活動に努めることができた。また、日本で最初となる「ふるさと納税自動販売機」を導入したことにより、新たな寄附方法を確立することができた。	
令和3年度以降の方向性	本町の自主財源のひとつとして、大きな役割を担っていることから、引き続き、本町の魅力をPRし、多くの寄附を募っていききたい。また、「ふるさと納税自販機」の新たな活用方法も検討していく。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(拡大)	本町の自主財源の確保に、大きく貢献する事業であり、今後も継続していく。
------	--------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

自主財源としての大きな役割を保持できるように、引き続き、広く周知を図る必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(拡大)	
------	--------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月3日作成

事業番号	503	担当課等	財政課							
事務事業名	財政調整基金積立金									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	昭和 45 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P155 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 将来を見据えた行政 経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	③ 各種基金への積立				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	年度間における財源の調整を行い、町財政の健全な運営に資するため								
対象									
内容	財政調整基金の積立								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	25,141,651	135,075,301	100,137,000		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	25,141,651	135,075,301	100,137,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	141,651	75,301	137,000		
	一般財源	25,000,000	135,000,000	100,000,000		
	財源合計	25,141,651	135,075,301	100,137,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
基金積立額			円	25,141,651	135,075,301	335,000,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
年度末基金額			円	980,287,947	800,363,248	1,000,000,000

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5
令和元年度までの自己評価または改善点	令和元年度末残高 800,363,248円	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	
令和2年度の見直し及び改善 (実績または予定)	令和元年度末残高 800,363,248円 令和2年度当初予算取崩額 △170,000,000円 令和2年度5月補正取崩 △50,000,000円 令和2年度6月補正取崩 △30,000,000円 令和2年度9月補正積立 100,000,000円	
令和3年度以降の方向性	令和2年度末の残高見込額は6億6,500万円である。平成29年度の10億円の水準に戻すためには3億3,500万円の積戻しが必要となるが、新型コロナの影響で町税全体が減額となることから、大きな積戻しは厳しいと考える。 今後も扶助費等の財政需要が見込まれることから、町財政の健全な運営に資するため、剰余金については積極的に積立てていきたい。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

財源に余剰が出た場合、速やかに基金への積み立てを行う。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月3日作成

事業番号	507	担当課等	財政課									
事務事業名	町債管理基金積立金											
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成	2	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P155 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 将来を見据えた行政 経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	③ 各種基金への積立				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし ○
目的	町債の償還に必要な財源を確保し、もって将来にわたる町財政の健全な運営に資するため								
対象									
内容	町債管理基金の積立								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	240	243	241		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	240	243	241		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	240	243	241		
	一般財源	0	0	0		
	財源合計	240	243	241		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
基金積立額			円	240	243	240
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
年度末基金額			円	2,425,443	2,425,686	2,425,926

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5
令和元年度までの自己評価または改善点	令和元年度末残高 2,425,686円	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし。	
令和3年度以降の方向性	町債の償還に必要な財源を確保し、もって将来にわたる町財政の健全な運営にすするため、継続して実施する。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月3日作成

事業番号	515	担当課等	財政課							
事務事業名	公共施設等総合管理計画推進基金積立金									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P155 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 将来を見据えた行政 経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	③ 各種基金への積立				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし ○
目的	町の所有する公共施設、公用施設その他の建築物及び工作物である公共施設等について、更新、統廃合及び長寿命化など総合的な管理計画を推進するため、継続して実施する。								
対象									
内容	公共施設等総合管理計画推進基金の積立								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	78,906	76,423	57,000		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	78,906	76,423	57,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	78,906	76,423	57,000		
	一般財源	0	0	0		
	財源合計	78,906	76,423	57,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
基金積立額			円	78,906	76,423	57,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
年度末基金額			円	762,102,507	609,199,930	609,256,930

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5
令和元年度までの自己評価または改善点	令和元年度末残高 609,199,930円	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	公共施設等の維持管理に係る経費及び地域福社会館の建て直しや改修等に特化して充当する。	
令和3年度以降の方向性	公共施設等の維持管理に係る経費及び地域福社会館の建て直しや改修等に特化して充当する。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

取崩し及び執行事業の管理に努める。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月3日作成

事業番号	511	担当課等	財政課									
事務事業名	まちづくり基金積立金											
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成	2	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P155 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなで作る自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 将来を見据えた行 政経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	③ 各種基金への積立				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
	○								
目的	湯河原町のまちづくりを応援しようとする個人又は団体から寄附を募り、これを財源として事業を実施することにより、湯河原町民はもとより湯河原を訪れた人々に喜びや安らぎを与え、個性豊かで活力あるまちづくりに資するため継続して行う。								
対象									
内容	まちづくり基金の積立								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	236,974,037	267,468,356	260,000,000		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	236,974,037	267,468,356	260,000,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	236,974,037	267,468,356	260,000,000		
	一般財源	0	0	0		
	財源合計	236,974,037	267,468,356	260,000,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
基金積立額			円	236,974,037	267,468,356	300,000,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
年度末基金額			円	315,964,690	248,683,041	365,000,000

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5
令和元年度までの自己評価または改善点	令和元年度末残高 248,683,041円	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	
令和2年度の見直し及び改善 (実績または予定)	令和元年度末残高 248,683,041円 令和2年度取崩予定額 △183,270,000円 積立目標値 300,000,000円	
令和3年度以降の方向性	湯河原町のまちづくりを応援しようとする個人又は団体からの寄附金をまちづくり基金に積立てたうえで、寄附者の指定した用途に合わせた事業を実施するための財源として有効に活用する。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

寄附者の意向に沿った事業に的確に充当する。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月3日作成

事業番号		担当課等	財政課							
事務事業名	公共施設個別計画策定事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	元年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P35 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなで作る自立と 協働のまちづくり	III 将来を見据えた行 政経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	(4) 公共施設等の総合 的な管理運営				
関連する個別計画	公共施設等総合管理計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	○ 該当なし
目的	個別施設計画の策定								
対象	すべての公共施設								
内容	国から令和2年度までに策定を求められている個別施設計画を策定する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)	
コスト	事業費		13,145,000	10,670,000	
	常勤職員		1,484,800	1,433,000	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	1,484,800	1,433,000	
	総事業費	0	14,629,800	12,103,000	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源		260,000	189,000	
	一般財源	0	14,369,800	11,914,000	
	財源合計	0	14,629,800	12,103,000	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
				14,700,000	12,200,000
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
				14,700,000	12,200,000

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	総務省「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」等により市町村が策定
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	
類似性	他事業との類似はないか	5	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	
令和元年度までの自己評価または改善点	令和元年度は劣化状況調査等データ収集を実施。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和元年度に実施した劣化状況調査等に基づき、計画を策定。令和3年3月中に策定できる見込。	
令和3年度以降の方向性	令和2年度に策定された個別施設計画を受けて、令和3年度に公共施設等総合管理計画を改訂する。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

個別計画の進捗状況を受けて、適宜、計画の更新及び検討を図る。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月3日作成

事業番号	11558	担当課等	財政課							
事務事業名	子育て世帯生活支援基金積立金									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	2年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P155 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなで作る自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 将来を見据えた行 政経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	③ 各種基金への積立				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
	○								
目的	湯河原町の将来を担う子どもの健やかな成長を願い、経済の大きな変化、天変地異等の状況下において、地域が連携し、子ども及び子育て世帯を見守り、育てることができる環境づくりを進める								
対象									
内容	子育て世帯生活支援基金の積立								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)			
	事業費			2,700,000		
コスト 人件費	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
総事業費	0	0	2,700,000			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源			2,700,000		
	一般財源	0	0	0		
財源合計	0	0	2,700,000			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	
基金積立額		円			3,000,000	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	
年度末基金額		円			3,000,000	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)	
必要性	町が実施する必要があるのか
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か
令和元年度までの自己評価または改善点	実績なし

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	子育て世帯生活支援に関する事業に特化して充当する。
令和3年度以降の方向性	子育て世帯生活支援に関する事業に特化して充当する。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

令和3年度末までの時限的な基金になるので、その使途に合わせた充用すべき事業について検討する。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------